

第 25 年度 事業計画

事業の目標

「新しい活動ビジョンを描き直しとより多くの子どもたちと交流できる一年に」

いよいよコロナによる制限も緩和され、こどもフェスタからあらためてコロナで停滞していた子どもとの事業を再開したり、さらに活動に取り組める体制強化をはかっていくこととなります。コロナ禍で休止していた活動も事業計画に盛り込み、徐々にではありますが本来の多様な活動があふれるこどものひろばの姿になっていく1年としたいのですが、そのためには、大きく以下5点検討し取り組む必要があります。

1. コロナの影響なども踏まえ、これからの活動ビジョンの検討
2. 活動をともにする会員や地域の連携先はじめ、山科醍醐こどものひろばに関わるすべての方々との交流
3. 役員改選から新しい運営体制の構築
4. コロナ禍の以前のようにできない活動運営をサポートする体制構築
5. 運営財源の確保

1. コロナの影響なども踏まえ、これからの活動ビジョンの検討

あらゆる状況が変化したなかで、ただ従来活動を再開したり、継続するだけでなく、これからどのような組織、活動を目指すのかを議論し直し、それに沿った活動や体制構築を目指します。さらに新体制によって中長期のビジョンについても検討を進めていきます。

2. 活動をともにする会員や地域の連携先はじめ、山科醍醐こどものひろばに関わるすべての方々との交流

この3年間で、活動を休止したり直接交流することが難しかったことから、会員はじめ多くの方が関わっているにも関わらずそのほとんどがお互いを知らないという状況もあります。あらためてこどものひろばという縁でつながっている方々の交流を通じて、これからの活動を考え、ともに挑戦していくことをまずはこどもフェスタからはじめ、取り組んでいきます。

3. 役員改選から新しい運営体制の構築

1期2年の改選期のため、これから充実させていく活動を新しく応援できる役員体制と事務局体制を整えるとともに、各活動をどのようにサポートしていくのかという点での仕組みづくりを行います。また法人運営事務の側面でも新しい制度や手続きなどもあるため、事務局として各事業と連携できるように体制を構築します。

4. コロナ禍の以前のようにできない活動運営をサポートする体制構築

活動を再開するにあたって3年間で関わる方々の状況も変化し、同じように取り組むことが難しい場面も想定されます。そのフォローとして事務局が関われるような体制の充実を図ります。また活動がなかったことで活動したいというボランティアの受け入れができなかった面もあるため活動につなぎ、フォローを行なっていきます。

5. 運営財源の確保

コロナ禍の3年間は、行政からの委託事業が中心であり職員も事業専従でありましたが、今後活動のサポートや法人の動きがでてくるなかで事務局の体制強化が急務となります。そのためにも財源の確保が必要になってきます。コロナ禍であまり行なっていかなかった講演会や研修事業など啓発事業にも取り組みながら、講師派遣などの収益事業や寄付募集の面の強化を図るべく、研修事業や寄付募集を専従で行う事業をたて、財源確保に取り組めます。あわせて会員制度についても実態を踏まえた見直しの検討も行なっていきます。

第25年度 各事業計画

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	予算額 (千円)
舞台芸術 鑑賞活動	-	-	-	-	-	-
子どもが自 ら創る体験 活動事業	<u>こどもフェスタ</u> 小規模で子どももおとなも楽しみ、 交流できる祭典を実施する。	5月21日	みささぎの森	15人	会員、関係者の 子どもと大人 100人	50
	<u>子どもの体験活動事業</u> 子どもたちの体験活動(野外体 験)を実施する。	通年	地域一円	5人	子ども:80人	80
	<u>町たんけん</u> 地域を知り、その中での出会いから 人と人がつながり、より良い地域 になることを目指す。山科かるた や、ガイドブックを普及させ、有効 活用できるように努める。最終年 度と位置づけ、まとめの年とする。	通年	地域一円	10人 (メインスタッフ・ ボランティア・講 師)	小学生10名程度 かるた大会参加児 童・大人約30人	111
子育てサ ポート事業	<u>げんきスポット0-3(ゼロさん)</u> 未就園児を持つ親と、その子ども 達のサポートを常設会場「げんき スポット0-3」にて実施する。屋根 のある公園を目指す。 充実事業の委託として げんきス ポット0-3を飛び出して地域の場 での支援を行う。 ※京都市の委託事業	毎週火～土曜日	げんきスポット0- 3	21人 (ボランティア8 人 講師4人)	地域の 子どもと大人 のべ6500人	7074 (委託金 6944)
	<u>楽習サポートのびのび</u> 集団活動が苦手な子どもや、学習 機会の少ない子ども、また経済的 等の理由で体験活動の機会がな い子どもへの個別(生活・学習・余 暇)支援事業。	通年	地域一円	-	-	-
	<u>子どもの貧困対策事業</u> 集団活動が苦手な子どもや、学 習機会の少ない子ども、また経済 的等の理由で体験活動の機会が ない子どもへの個別(生活・学習・ 余暇)支援事業。コロナ禍の影響 を受けた家庭に食材・衛生用品の 配布支援も実施する。 ※京都地域創造基金事業指定助 成事業 ※近畿ろうきん「笑顔プラス」寄付	通年	地域一円	30人	地域の子ども: のべ300人	2430 (助成金2200)
	<u>山科醍醐地域ひとり親家庭等へ の生活・学習・居場所サポート事 業</u> 伏見区醍醐・小栗栖地域を中心 に、小学校高学年の子どもとその 家族へのサポートを行う。 ※京都府委託事業	通年	地域一円	30人	子ども: のべ300人 保護者: のべ15人	8350 (委託金8350)
ボランティ アサポー ト事業	<u>ボランティア・研修部</u> ボランティア希望者の、各事業へ のコーディネートを行なう。 ボランティア活動に参加する際 の、子どもとのかかわり方や、参 加者が希望する内容の研修会を 定期的に行なう。	通年	当法人事務所	4人	-	-
	<u>研修会</u> 定期開催のスキルアップ研修会を 行なう。	通年	当法人事務所	2人	のべ360人	360

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	予算額 (千円)
ボランティア サポート 事業	講師派遣・インターンシップ受入 事業 当法人スタッフの講師派遣及び当 法人におけるインターン希望者の 受入を行う。	通年	地域一円	4人	—	1,500
	のびのび@たいむ のびのび事業の利用を終えた高 校生等の居場所とボランティア推 進事業。	通年	地域一円	2人	20人	—
広報・出版 事業	ひろばつうしん 会員向け情報誌「ひろばつうしん」 の発行。 イベントや活動の参加募集チラ シ、外部団体のチラシなども発 送。	月刊	—	—	150部を12回	—
	コッペパン 広報誌「コッペパン」の発行。	不定期	—	—	—	—
	ひろばの本 「貧困とひとりぼっちのないまち」 「まちのこどもソーシャルワーク」 の頒布を通じて、ひろばの広報や 社会への啓発を進める	通年	—	—	—	50
	サポートBOOK 「子どもの貧困課題に地域で取り 組む支援者のアクションサポート BOOK」の頒布、活用。 読書会の開催。	通年	—	—	—	—
ネットワー クづくり事業	ホームページ 当法人におけるホームページの 定期的な更新情報の発信及び、 基本情報の公開を行う。	通年	—	—	—	—
	分野連携ボランティアネットワーク 事業 当法人登録ボランティアと子ども 分野の活動団体とのネットワー クづくりを行う。	通年	—	—	—	—
	山科子育て応援団 社会福祉協議会を事務所として 山科で子育てサークルや子育て 支援をしている諸団体との交流を 行う。子育て支援サロンを開催す る。	通年	社会福祉協議会 他	—	—	—
	中学生勉強会(おぐりす・だいご・ 醍醐支所) 生活保護受給者等中学生学習支 援プログラム。 ※京都市ユースサービス協会委 託事業	通年	醍醐事務所 トハウス 醍醐支所	20人	おぐりす5人 だいご5人 醍醐支所15人	2713 (委託金2713)
	みんなの家 フリースペースとして開放。 (主催:社会福祉協議会)	第1、第3、第5 月曜日	こども生活支援セ ンター	—	—	—
	企業との連携 企業からのボランティア体験の受 け入れや、イベントでのボランテ ィア呼びかけなど。 その他、東山ロータリークラブと協 同でイベントを実施予定。	通年	—	2人	—	—